

まちなみ

燃え広がらず、壊れにくい、逃げやすいまち

防災まちづくり通信 第2号

発行／浦安市 都市整備部

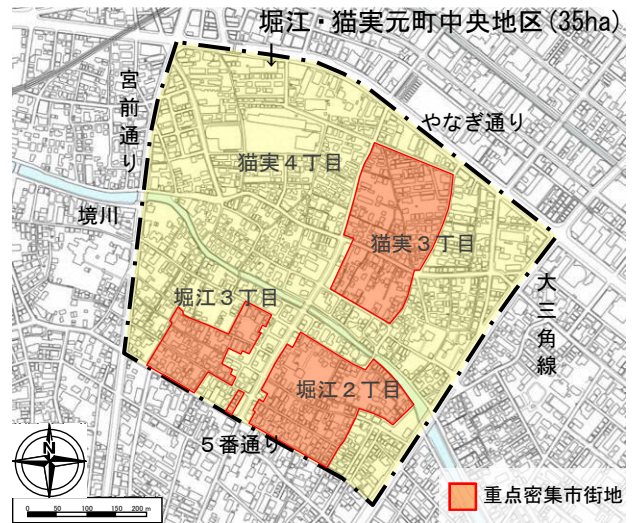
平成29年10月

地区のみなさんと一緒に防災まちづくりに取り組みます！

浦安市では現在、災害時の危険性が心配される堀江・猫実元町中央地区の一部（35ha）を対象に、防災まちづくりを検討しています。

先般実施した「防災まちづくりに関するアンケート」では、地区のみなさんのまちづくりへの期待感が高いことが分かりました。さらに、アンケート報告会では、「地区の防災と街並み」の両立が参加者から課題として投げかけられました。

そこで、市では、こうした課題も踏まえて、地区のみなさんと一緒に防災まちづくりに取り組みますので、ご協力をお願いします。

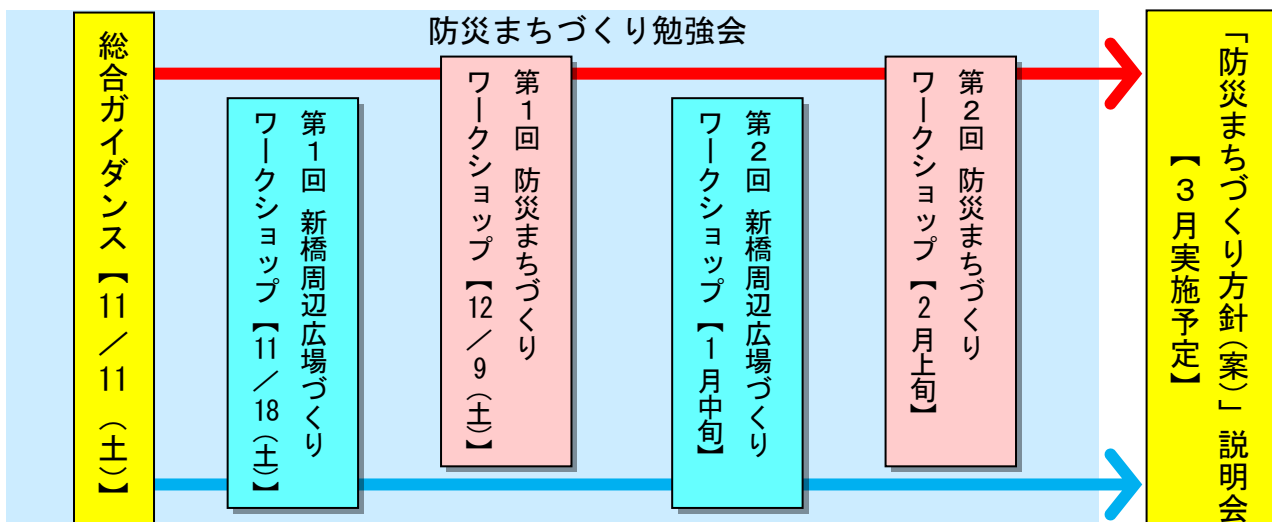


参加者募集！

①「防災まちづくり勉強会」を始めます！

防災まちづくりの具体的な取り組みとして、まずは『防災まちづくり方針』の策定、『新橋周辺広場』の整備を進めていきます。

この取り組みを進めるにあたっては、地区のみなさんのご意見を反映させるため、全5回の「防災まちづくり勉強会」を開催します。



* ワークショップとは：参加者が自由に意見交換を行い、白紙の状態から課題やアイデアを整理・共有していく会議形式です。

②「防災まちづくり勉強会」のプログラム

1. 総合ガイダンス

防災まちづくり方針をまとめることを目標に、第1回勉強会は「総合ガイダンス」として、5回にわたる勉強会の全体プログラムをご紹介するとともに、右記の内容を実施します。

2. 防災まちづくりワークショップ

「身近な避難」の観点からまちを点検し、最低限の避難環境づくりのための短期的な取り組みから、地区全体の安全性を高めるための中長期的な取り組みまでを検討します。

3. 新橋周辺広場づくりワークショップ

アンケートで「防災広場は住民と協議しながら整備すべき」との意見が多かったことを受け、利用者である住民の立場から広場整備のあり方や留意点を検討・提案し、今後の設計作業に反映させます。

- ① 今後の取り組みについて（目的、概要）
- ② 防災まちづくりの視点（地区の特徴など）の紹介
- ③ 図上ワークショップ（まちの魅力・課題について意見交換）

【第1回】「まち歩き」ワークショップ

- ・まちを歩きまわって点検しながら、必要な対策案を意見交換。

【第2回】「逃げ地図」ワークショップ

- ・自宅から避難場所までの所要時間を図化した「逃げ地図」を作成し、意見交換。

【第1回】「現地確認」ワークショップ

- ・現地を確認しながら、広場の利用イメージを意見交換。

【第2回】「デザイン」ワークショップ

- ・利用イメージを基に、防災に配慮した多目的広場として必要な機能・配置を検討。

「防災まちづくりアンケート報告会」を開催しました！



■ 防災まちづくりアンケート報告会の実施概要

日時：平成29年9月23日 10:00～11:30

会場：中央公民館 4階大集会室

参加者数：19名

内容：アンケート結果の報告

今後のまちづくりの進め方

アンケート報告会での主なご意見をご紹介します！

● 地域の消火活動に関する意見

- ・消火活動の水源として、境川を有効活用したい。
- ・境川から水上消火を考えてはどうか。
- ・震災時の雑用水確保のために井戸を作れないか。

● 街並みと防災の両立に関する意見

- ・神楽坂や鎌倉など、古い街並みが残る街ではどういった防災をしているか参考になるのではないか。

● 行政の防災支援に関する意見

- ・耐震改修は個々の対策ではなく、地域全体の意識を高めないといけない。
- ・耐震シェルターの補助を検討してはどうか。

● 地域のルールづくりに関する意見

- ・地震時、一番危ないのは道路に面した古い塀。高さを低くするなど対策を考えた方が経費も安く人命を守れるのではないか。

事業に関するお問い合わせや相談は・・・

浦安市 都市整備部 都市政策課、都市計画課、市街地開発課

猫実 1-1-1 TEL047-712-6536（都市政策課）

Email : tosei@city.urayasu.lg.jp